

**令和2年度進行管理・評価シート**  
**千曲市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月19日認定）**  
（最終変更 令和2年3月13日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 千曲市景観計画との連携	.....	2
2 屋外広告物法との連携	.....	3
3 文化財保護法との連携	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存 整備事業	.....	5
2 八幡地区町並み整備事業	.....	6
3 稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境 整備事業	.....	7
4 更級・姨捨地区 環境整備事業	.....	8
5 水源涵養里山整備事業	.....	9
6 姨捨の棚田耕作支援施設整備事業	.....	10
7 歴史資源調査活用事業	.....	11
8 歴史文化の発信事業	.....	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存 管理・活用等)について	.....	13
2 文化財の修理、整備等について	.....	14
3 文化財の周辺環境の保全について	.....	15
4 文化財の防災に関する取組について	.....	16
5 文化財の保存及び活用の普及・啓発に ついて	.....	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「月の都 千曲」が日本遺産に認定されま した ほか	.....	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史・文化財に対する住民意識の向上	.....	19

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	20
--------------------------------	-------	----



評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
計画実現のための推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 都市計画課・歴史文化財センターが事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく千曲市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。  
 計画の推進や事業の実施に際しては、国や長野県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法定協議会である千曲市歴史的風致維持向上協議会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、書面会議により行った。事業計画等について協議した。  
 庁内組織である千曲市歴史まちづくり推進会議を開催した。事業の進捗状況、事業計画等について情報を共有するとともに、今後の取組等について確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応      実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	会議の開催に当たっては、必要に応じて書面会議により行う等、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じる。
--	---

状況を示す写真や資料等

●千曲市歴史的風致維持向上協議会

- 1 開催方法 書面会議  
 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として書面形式により行った。
- 2 審議の期間 令和2年7月31日(金)から令和2年8月31日(月)まで  
 ※会議資料送付から意見等に対する市の回答送付までの期間になります。
- 3 内 容
  - 1 報告事項  
 令和元年度進行管理・評価シートについて
  - 2 協議事項  
 (1)令和2年度事業計画について  
 (2)令和2年度スケジュールについて

●千曲市歴史まちづくり推進会議

- 1 期 日 令和2年6月25日(木)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容
  - (1)千曲市歴史的風致維持向上計画の概要について
  - (2)令和元年度進捗評価について
  - (3)令和2年度事業計画について
  - (4)今後のスケジュールについて



会議の様子 R2.6

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
千曲市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 景観計画区域は千曲市全域と位置づけ、そのうち重点地区として千曲市を代表する個性ある地域について、重点的かつ段階的に景観形成を進めるために、良好な眺望景観を有する地区、歴史的・文化的景観を有する地区、自然と調和した景観を有する地区などより6地区に分け、姨捨地区を景観形成重点地区に、また、その他の5地区を候補地として設定している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当者とミーティングを行い、今後の連携を確認した。歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報を共有するとともに、現状と課題について意見交換を行った。  
 千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報を共有し連携を図る。

状況を示す写真や資料等

●歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数

- 1 稲荷山・桑原・八幡地区 6件
- 2 更級・姨捨地区 0件
- 3 戸倉上山田温泉地区 1件
- 合計 7件

●景観計画担当者とのミーティング

第1回

- 1 期 日 令和2年4月13日(月)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報共有  
(2)現状と課題について意見交換  
(3)連携の確認

第2回

- 1 期 日 令和2年9月4日(金)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数の状況について  
(2)現状と課題について意見交換  
(3)連携の確認

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
屋外広告物法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本市における屋外広告物は、屋外広告物条例(平成5年長野県条例第23号)により規制されている。本市内における指定区域には、基本的に屋外広告物を禁止する「禁止地域」と許可申請により設置が可能な「許可地域」の2つがある。これら指定区域における屋外広告物の表示や設置を規制・指導することにより、風致景観を維持されるものであり、本計画では引き続き屋外広告物法と連携して、歴史的風致の維持向上を図っていくものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当者とミーティングを行い、今後の連携を確認した。関係法令について情報を共有するとともに、現状と課題について意見交換を行った。千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市特有の景観に配慮した屋外広告物に移行するため、市独自の屋外広告物条例制定について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

●屋外広告物担当者とのミーティング

第1回

- 1 期 日 令和2年4月13日(月)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画と屋外広告物関係法令に関する情報共有  
(2)現状と課題について意見交換  
(3)連携の確認

第2回

- 1 期 日 令和2年9月4日(金)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)市独自の屋外広告物条例制定に関する意見交換  
(2)連携の確認

●屋外広告物表示禁止物件等の一斉点検

- 1 期 日 令和2年9月4日(金)
- 2 場 所 稲荷山地区



一斉点検の様子

R2.9

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財保護法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 稲荷山伝統的建造物群保存地区については、“千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画”(平成26年千曲市教育委員会告示3号)を策定し、保存並びに活用を図るよう取り組んでいる。  
 一方、名勝「姨捨(田毎の月)」については、“名勝「姨捨(田毎の月)」保存管理計画”(平成25年7月改訂)を、重要文化的景観「姨捨の棚田」については、“姨捨棚田の文化的景観保存計画”(平成20年3月)を策定し、ゾーニングと整備水準の基本方針を定め、姨捨の棚田の保存と活用に取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催した。稲荷山伝統的建造物群保存地区内の修理事物について情報を共有するとともに、事業に関する意見聴取を行った。  
 稲荷山伝統的建造物群保存地区における現状変更行為について、随時関係各課と情報を共有し、必要な対応をとった。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	稲荷山伝統的建造物群保存地区における建築物の修理等の現状変更行為に対して必要な措置を講じ、当該保存地区の保存に努める。

状況を示す写真や資料等

●千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催

- 1 期 日 令和2年11月9日(月)
- 2 場 所 稲荷山公民館
- 3 内 容 (1)令和2年度修理事物の報告  
(2)令和3年度修理予定物件の検討



会議の様子 R2.11



現地確認の様子 R2.11

●稲荷山伝統的建造物群保存地区での現状変更行為への対応

- 1 時 期 随時
- 2 関係課等 歴史文化財センター、建設課、都市計画課

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、文化財保護事業補助金		
計画に記載している内容	稲荷山伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物等の保存・活用を図るため、建造物等の買上や修理、修景などを行い、歴史的な町並みの整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
稲荷山伝統的建造物群保存地区における歴史的建造物の修理・修景事業を文化庁の補助金を活用して実施した。令和2年度は、修理5件(小出家文庫蔵、唐澤家主屋、田中家土蔵、旧高村家別邸門、旧高村家別邸塀)、修景1件(旧高村家別邸塀(修理とは別の場所))の事業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物等の修理・修景を行い、歴史的なまちなみの維持・向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			
<h3>小出家文庫蔵修理</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修理前 R元.9</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>修理後 R2.11</p> </div> </div>			
<h3>唐澤家主屋修理</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修理前 R2.7</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>修理後 R3.3</p> </div> </div>			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
八幡地区町並み整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松田家及び神宮寺、大頭祭沿道等八幡地区の町並み整備を行う。  
また、松田家資料保存整備事業を早期に完成させ、松田家住宅の公開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年9月6日に発生した火災により焼損した松田家の主屋、味噌蔵、料理の間の修理事業に着手した。  
令和2年12月に、主屋及び料理の間の修理工事を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度は、引き続き主屋及び料理の間の修理工事を行うとともに、味噌蔵の修理工事にも着手し、令和3年12月にしゅん工予定である。
--	--

状況を示す写真や資料等

**松田家主屋等修理工事**



主 屋 R3.3



料理の間 R3.3



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 街路整備や防災、拠点施設整備、町家活用など、千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

稲荷山伝統的建造物群保存地区の環境整備等を行うための全体整備計画の策定に取り組んだ。計画策定に先立ち、建物調査を行うとともに、交流拠点施設の整備や防火設備の設置の方向性について検討した。稲荷山伝統的建造物群保存地区を含む市全域の防犯灯のLED化を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

稲荷山伝統的建造物群保存地区の全体整備計画は、令和2年度から2か年で策定する。

状況を示す写真や資料等

工学院大学による建物調査の様子



← ↑ 旧商家(松林家)

R2.12

防犯灯LED化事業



従来の蛍光灯 R2.10



交換後のLED灯具 R3.3

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
更級・姨捨地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、文化財保護事業補助金、長野県の「地域発 元気づくり支援金」

計画に記載している内容	名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」及び周辺の道路、農道、水路などの環境整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

姨捨の棚田の拠点施設である姪石苑について、利用者の利便性向上を図るため、出入口及び床の改修を行った。板の間の床から土間への改修により、履物を脱ぐ必要がなくなり、長靴等での出入りが可能になった。  
上姪石地区管理道9号線の水路(L=67m)の整備工事を実施し、耕作しやすい環境を整えた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	耕作環境の改善を図り、耕作者の営農意識の更なる向上と新たな担い手の確保に結び付けていく。

状況を示す写真や資料等

姪石苑改修工事



改修前 R2.9



改修後 R2.10



改修前(板の間の板を剥いだ状態) R2.9



改修後 R2.10

上姪石地区管理道9号線(水路)整備工事



整備前 R2.10



整備後 R3.3

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
水源涵養里山整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 姨捨の棚田の水源である三峰山や冠着山等の森林整備及び、安全に登れる登山道や遊歩道の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年6月27日に地元ボランティア団体の協力のもと、冠着山の遊歩道・登山道とその周辺の整備を行った。坊城平いこいの森遊歩道の草刈り、古峠越え古道の倒木除去・草刈り等の作業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元団体等の協力を得て、周辺環境の整備を図る。

状況を示す写真や資料等

冠着山遊歩道・登山道での作業の様子

① 坊城平いこいの森遊歩道の草刈



R2.6

② 古峠越え古道の倒木除去・草刈



R2.6

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
姨捨の棚田耕作支援施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地形上、耕作者が農機具を置く場所がないため、支援施設(小屋等)の整備を行い、耕作しやすい環境の整備を行うことにより、活動の継続を図る。また、都市と農村の交流を目的とする棚田貸します制度の参加者など棚田への来訪者のための駐車場を整備することにより、農道への駐車を減らし、耕作者にとって耕作しやすい環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

姨捨の棚田への駐車場整備について、駐車場用地が重要文化的景観「姨捨の棚田」の選定区域内にあるため、関係機関と事前協議を行った。

事前協議に時間を要したため、令和2年度に予定していた抜根作業、転落防止柵設置、農機具格納庫設置の事業は、次年度に繰り越して実施することとした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の実施にあたっては、棚田の景観維持に努める。

状況を示す写真や資料等

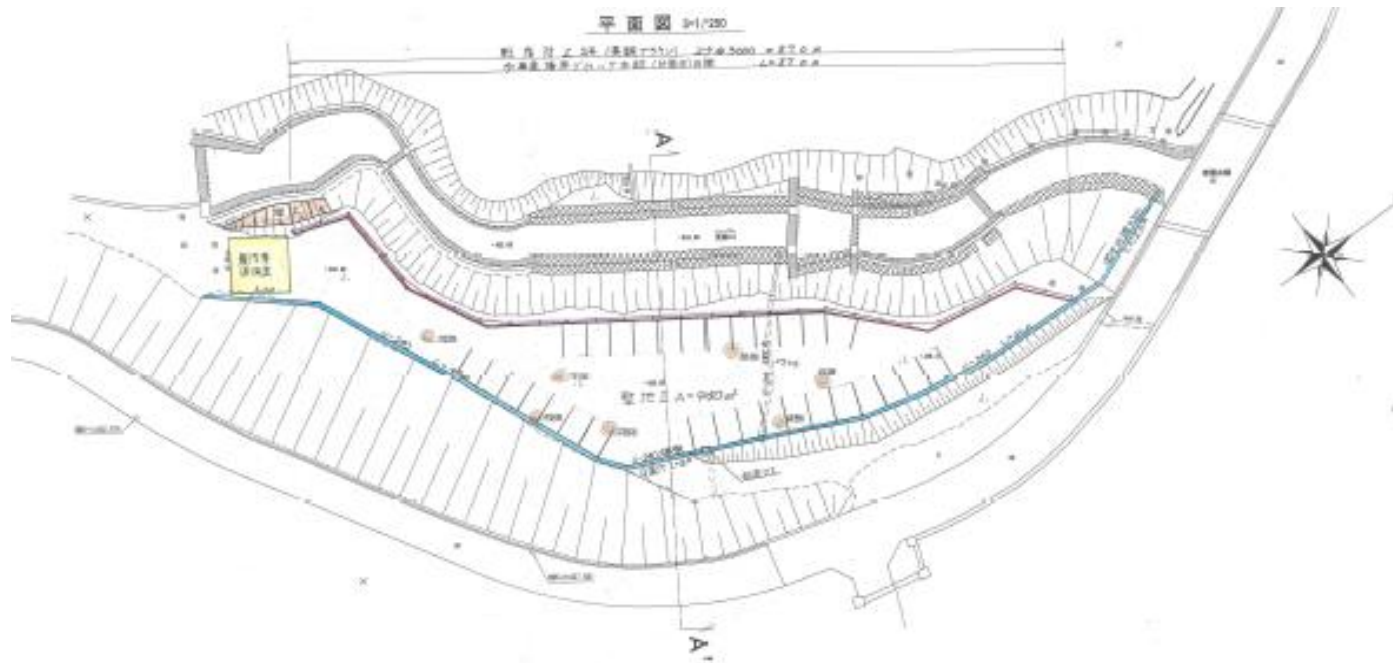
姨捨の棚田駐車場の現況



北方から撮影



南方から撮影



駐車場平面図(予定)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史資源調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 稲荷山の町並み形成の契機となった稲荷山城跡、更級郡衙範囲など歴史的資源の調査を行い、実態解明を図る。その成果に基づき、その保存並びに活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

八幡地区の西澤家の土蔵から大量の古文書が見つかったため、令和2年6月29日、30日に調査を行った。西澤家は、江戸時代の塩崎陣屋の門を移築したと伝えられる旧家である。この調査から、西澤家は、江戸時代に志川村の名主を務めていたことが判明した。更には、大頭祭で頭人を務めたことも分かったため、松田家とも関係があることが推測される。また、江戸時代の八幡地区の町割りを推定するための絵図があるため、更級郡衙の位置を解明するうえで重要なデータになり得ると考える。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現代の地割図や明治時代の地籍図等も用いて、実態解明を図っていく。

状況を示す写真や資料等

西澤家古文書調査



古文書の保管状況

R2.6



古文書

R2.6

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史文化の発信事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 文化財の将来の担い手である児童・生徒に対し、歴史的風致を中心とした千曲市の歴史文化に関する冊子を作成し、郷土学習資料として活用してもらうほか、観光客に対してパンフレットを作成し配布することで、より一層の誘客増、魅力発信を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

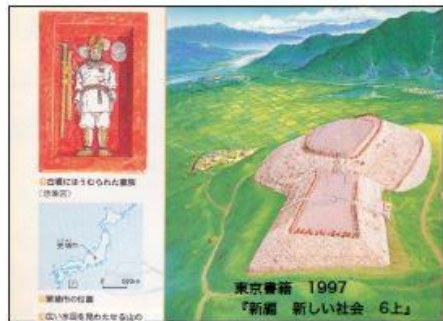
八坂自治会と育成会の依頼を受け、令和2年10月18日に八坂地区の文化財巡りツアーを実施した。  
 市歴史文化財センター職員が、地元の遺跡や古墳等について、資料を用いて解説を行った。  
 参加者:約50名(八坂自治会住民、上山田小学校児童・保護者)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の魅力や歴史文化を積極的に発信することにより、歴史的風致に関する認識の向上と郷土愛の醸成を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等

八坂地区の文化財巡りツアーで使用した資料の一部



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財は指定・未指定に関わらず、本市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、文化財等の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年8月に新山地区の住民有志が「新山の歴史と自然に学ぶ会」を結成した。この会は、地元の市史跡「入山城跡」の周辺整備に取り組んでおり、令和2年12月20日に作業を行った。この作業には、市歴史文化財センター職員も参加し、アドバイザーとして取組に協力した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

地域の歴史・文化を伝承するため、「新山の歴史と自然に学ぶ会」の取組を支援する。

状況を示す写真や資料等

市史跡「入山城跡」の周辺整備の様子



本丸周辺の整備

R2.12



登城ルート安全ロープ・史跡保存ロープの設置 R2.12

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の修理、整備等について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の修理は、文化財の価値を維持することであるため、過去の改変履歴や調査記録等の活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。  
 特に、指定文化財の修理は、文化財保護法や長野県・千曲市の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁に指導を仰ぎつつ、関係機関や専門家と連携して実施する。  
 また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。  
 未指定文化財や、歴史的風致形成建造物として指定した建造物の修理については、所有者等と協議しながら、保存のための対策を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

智識寺仁王門の市指定有形文化財「木造金剛力士立像」が背面に傾き、壁に寄りかかった状態であった。横倒しになり、破損する恐れがあったため、仏師に依頼し、傾きを直す修理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者等による適切な維持管理と日常の点検により、損傷の早期発見に努める。

状況を示す写真や資料等

市指定有形文化財「木造金剛力士立像」の修理の様子



修理前(背面に傾いた状態) R2.12



修理の様子 R3.1



修理後 R3.1



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の周辺環境は、文化財の価値に強い影響力を与えることから、文化財の保存・活用を図る上では、文化財単体へのみ措置を講じるだけでなく、その周辺環境と一体的に措置を講じることにより、文化財の価値を高めることが重要である。そのため、都市計画法や景観法等の関連法令と連動し、文化財とその周辺環境を一体的に保全することが求められる。  
 このため、引き続き都市計画法や景観法に基づいてその保全に努める。  
 また、文化財周辺の景観を阻害する要素は、要素の改善や除却をするとともに、整備を行う際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の重要文化財「智識寺大御堂」がある智識寺の境内周辺は、智識の杜公園として整備されている。その智識の杜公園の樹木の枝が車道まで伸び、車両の通行に支障をきたす恐れがあると同時に、周辺の景観を損ねていたため、剪定を行い通行車両の安全確保と景観の改善を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	自然環境と一体となって特色ある歴史的風致を形成しているものが多いことから、それぞれの歴史的風致に即した維持管理を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

智識の杜公園の樹木の枝の剪定



剪定前

R2.7



剪定後

R2.8

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の防災に関する取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際の迅速な消火体制の確保、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取り組む。  
 予防対策は、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備等の防火設備の設置とともに、オール電化の導入を検討し、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。  
 防災教育・訓練は、文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発と防災教育に取組み、文化財防火デーには、各地の消防団や各種自主防災組織と連携して文化財施設での消火訓練を実施する。また、地震対策として耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。  
 また、美術工芸品等の有形文化財は、防犯環境設計の考え方にに基づき、盗難にあわないよう防犯設備の設置を推奨するとともに所有者の意識改善等により、防犯性能の向上を図る。  
 不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1月26日の文化財防火デーに合わせた取組として、令和3年1月26日に、国の重要文化財「水上布奈山神社本殿」及び市指定有形文化財「屋代小学校旧本館」において防火訓練を実施した。  
 当日は、神社総代、学校関係者、消防署職員、市職員あわせて10名程が参加し、通報訓練、初期消火訓練等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の所有者等に対して火災の予防対策の徹底や防災意識の向上の啓発に取り組む。

状況を示す写真や資料等

防火訓練の様子



国重要文化財 水上布奈山神社本殿



R3.1



市指定有形文化財 屋代小学校旧本館



R3.1

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

市内外の人びとを対象として実施する普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により、広く普及・啓発を図る。  
 市民への主な普及・啓発は、広報誌やイベントの開催等により日頃からの認識向上とともに、地域に根差した伝統芸能や行事の将来の担い手である子どもたちに対しても、これら伝統芸能や行事への愛着をはぐむための取り組みを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年6月19日に「月の都 千曲」が日本遺産に認定された。  
 これを受け、日本遺産を訪れる観光客等に市内の文化財を案内するガイドを養成することを目的とした「日本遺産ガイド養成講座」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

機会を捉え、郷土の歴史的資源の情報発信に努め、住民意識の高揚と貴重な文化財の活用を図る。

状況を示す写真や資料等

日本遺産ガイド養成講座

- 講座回数: 全5回  
(令和2年10月から月1回)
- 場 所: 千曲市総合観光会館
- 修了者数: 40名



講座の様子

講座のテーマ

- 第1回: 日本遺産制度の概要  
千曲市の歴史 ほか
- 第2回: 構成文化財見学  
(見学場所: 武水別神社ほか)
- 第3回: 姨捨山の文学 ほか
- 第4回: 歴史の中の近代観光 ほか
- 第5回: ガイドのスタートに向けて ほか



構成文化財見学の様子

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
神輿行列等中止で神事のみ <戸倉上山田温泉夏祭りは縮小を決断>	令和2年4月10日	信州ケーブルテレビジョン
棚田オーナーの田植え始まる <新型コロナで3日間に分けた初日>	令和2年5月29日	信州ケーブルテレビジョン
市特産アングスの収穫へ不安 <あんず狩りイベントなども中止へ>	令和2年6月4日	信州ケーブルテレビジョン
日本遺産 県内新たに2件	令和2年6月19日	信濃毎日新聞(夕刊)
「月の都 千曲」日本遺産認定	令和2年6月19日	信州ケーブルテレビジョン
日本遺産 姨捨の棚田 「月の都」更級 受け継ぐ営み	令和2年6月20日	信濃毎日新聞(朝刊)
「月の都 千曲」が日本遺産に認定されました	令和2年7月1日	市報千曲令和2年7月号
イベント・行事の中止などのお知らせ 規模縮小(神事のみ)の開催 戸倉上山田温泉夏祭り、稲荷山祇園祭	令和2年7月1日	市報千曲令和2年7月号
稲荷山祇園祭しめやかに <祭事中止も神事行い伝承継承>	令和2年7月18日	信州ケーブルテレビジョン
温泉夏祭り縮小で原点の神事のみ <疫病退散や台風被害の復興願う>	令和2年7月19日	信州ケーブルテレビジョン
「月の都 千曲」が日本遺産に認定されました	令和2年8月1日	市報千曲令和2年8月号
ガイド養成やセンター開設へ <千曲市日本遺産推進協議会設立>	令和2年8月3日	信州ケーブルテレビジョン
日本遺産「姨捨の棚田」地元協議会発足	令和2年8月4日	信濃毎日新聞(朝刊)
日本遺産ガイド養成講座受講生を募集します	令和2年9月1日	市報千曲令和2年9月号
月の都千曲を知る 第1回 冠着山と峠道	令和2年9月1日	市報千曲令和2年9月号から連載
イベント・行事の中止などのお知らせ 千曲市3大歴史祭り中止 荒砥城まつり、さらしなの里縄文まつり、森將軍塚まつり	令和2年10月1日	市報千曲令和2年10月号
日本遺産「月の都 千曲」照らす <姨捨棚田に中秋の名月>	令和2年10月1日	信州ケーブルテレビジョン
北国街道の下戸倉宿を歩こう! <戸倉史談会講師にふるさとウォーク>	令和2年10月31日	信州ケーブルテレビジョン
宝船や神楽は取りやめ <コロナ禍の大頭祭始まる>	令和2年12月10日	信州ケーブルテレビジョン
文化財の防火対策を確認 <文化財防火デー>	令和3年1月26日	信州ケーブルテレビジョン

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「月の都 千曲」の日本遺産への認定に関する情報について、幅広く発信できた。  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、多くのイベント・行事と同様、歴史的風致を形成する祭礼・伝統行事等についても中止や縮小になった。地域住民の関心事であるため、メディアに多く取り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地域の歴史や文化財に関する情報を積極的に発信することにより、歴史的風致の認識の向上を図る。

状況を示す写真や資料等

「月の都 千曲」が日本遺産に認定されました



6月19日、文化庁から令和2年度の「日本遺産」が発表され、千曲市が申請していた「月の都 千曲-姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色 [田毎の月]」が認定されました。  
日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するものです。  
ストーリーを語るうえで欠かせない魅力溢れる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

今回認定された日本遺産は、「月見」をテーマに姨捨の棚田、長楽寺境内と歌碑群、武水別神社神主松田家館跡や姨捨駅の駅舎など29の文化財が3つのストーリーを構成しています。  
今後は、市民や関係団体の皆さんと連携し、認定されたストーリーや文化財を活用して千曲市の魅力を発信していきます。詳細は市ホームページをご覧ください。  
お問い合わせ先 歴史文化財センター (TEL 026-261-3210)

▲日本遺産認定を伝える記事  
(市報千曲令和2年7月号より)

▼「月の都 千曲」に関する連載  
(市報千曲令和2年9月号より)



「我が心慰めかねつ 更級や姨捨山に照る月を見て」  
平安時代、「古今和歌集」に収められたこの歌は、この地の月を詠んだ古歌である。  
さらしなの地の姨捨山(冠着山)に照る月が有名になった契機を交通路から考えてみます。  
左の地図を見ると、JR篠ノ井線や長野自動車道、一本松峠古峠が同じようなルートを通過していることがわかります。  
奈良時代、この地には京の都に通じる東山道の支道が通っていたと考えられています。  
山国信州では、盆地を結ぶ主要な交通路の位置は地形に左右されます。  
▼「月の都 千曲」に関する連載 (市報千曲令和2年9月号より)

月の都千曲を知る  
第1回 冠着山と峠道

評価軸⑥-1  
 その他(効果等)

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目
歴史・文化財に対する住民意識の向上

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市は、令和2年5月に「市民意識調査」(平成29年度までは「市民満足度調査」)を実施し、市政への満足度と重要度を調査した。

調査の集計・分析結果から、「歴史・文化財」の取組に対する満足度について、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した割合の合計値が、令和2年度の調査では54.2%となり、平成27年度(歴史的風致維持向上計画策定前)の調査の48.7%から5.5ポイント増加した。

また、「歴史・文化財」の取組の重要度について、「重要である」、「やや重要である」と回答した割合の合計値が、令和2年度の調査では77.7%となり、平成27年度(歴史的風致維持向上計画策定前)の調査の73.9%から3.8ポイント増加した。

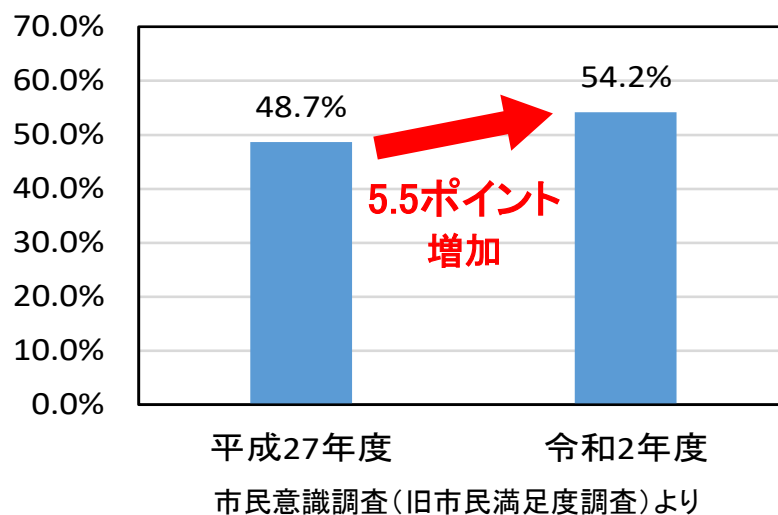
歴史的風致維持向上計画の策定前と策定後と比較した場合、計画策定後は、歴史・文化財に対する市民の意識が満足度、重要度とも上昇したことが明らかになった。

市民の意識が向上した要因の一つとして、当該計画に基づき実施した歴史的建造物の保存・活用の推進や、歴史的風致の認識を高める取組の推進等によるものと考えられる。

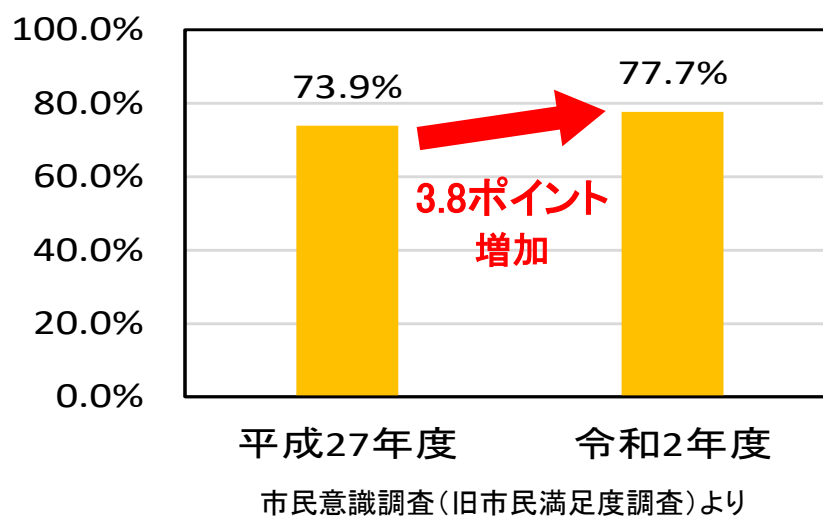
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	「歴史・文化財」の施策に対する市民の意識や関心が高まっているため、引き続き、歴史的風致を維持・向上させる事業や取組を推進する。

状況を示す写真や資料等

「歴史・文化財」の取組に対する**満足度**



「歴史・文化財」の取組の**重要度**



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称:千曲市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)          ※書面形式により開催しました。</p>	
<p>会議等の開催日時:令和3年4月30日(金)から平成3年5月31日(月)まで          ※会議資料送付から意見等に対する市の回答送付までの期間になります。</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 眺望景観について、夜景が売りであるため、外灯を電球色に統一する試みをしてはどうか。</li> <li>② 屋外広告物について、華美にならず、落ち着いたものになるよう配慮してほしい。</li> <li>③ 稲荷山伝統的建造物群保存地区について、早期の整備をお願いしたい。また、外灯は電球色を勧めたい。</li> <li>④ 歴史・文化財に関する取組について、分かりやすく、親しみやすい情報発信をしてほしい。</li> </ol>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 外灯(街路灯・商業灯)は、地元商工団体等の所有物であり課題が多いため、ご意見として承る。              また、眺望景観の形成については、千曲市景観計画の景観形成方針に基づき対応する。</li> <li>② 屋外広告物条例(平成5年長野県条例第23号)及び千曲市景観計画に基づき適切に対応する。</li> <li>③ 稲荷山伝統的建造物群保存地区における歴史的建造物の修理・修景事業について、令和2年度は修理5件、修景1件の事業を実施した。              引き続き、地元のまちづくり団体や建築物等の所有者の協力が得られるよう協議を重ね、合意形成を図りながら整備を進める。</li> <li>④ 日本遺産の取組との連携や子供たちへの郷土学習等を通して、分かりやすく効果的な情報発信に努める。</li> </ol>	